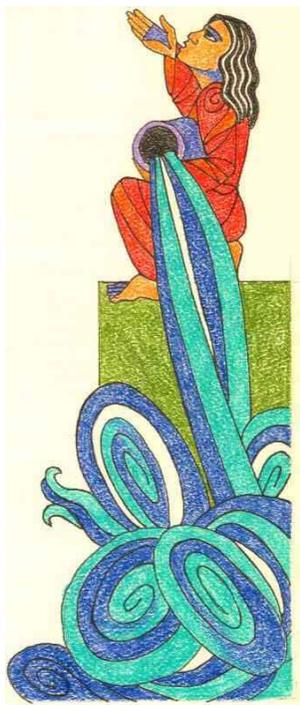


# いのちの水



J P I C (正義と平和、環境保護) 推進本部  
エコロジー作業部会作成ローマ、イタリア  
2003年6月

# いのちの水

「姉妹なる水」を守るために

キリスト者は  
貴重な水の恵みに対して  
どのように尊敬と配慮の念を  
表わすことができるか

J P I C (正義と平和、環境保護) 推進本部  
エコロジー作業部会作成ローマ、イタリア  
2003年6月

ご意見、ご質問、アイデアなど大歓迎です。  
より詳しい情報をお求めの方は下記にご連絡ください：  
jpicclimatechange@yahoo.co.uk  
<http://www.ofm-jpic.org/aqua/>  
日本語 : jpic@ofm-j.or.jp

「私の主よ、あなたはたたえられますように、  
姉妹である水のために。水は、有益で謙遜、  
貴く、清らかです。」<sup>1</sup>

(アシジの聖フランシスコ「つくられたもの すべての讃歌」)

## 目次

序文 ----- 6

### 見る：

1. 水に関するいくつかの現状 -----9
2. 水の民営化-----14
3. 「見る」に関する質問-----17

### 判断する：

4. 水と聖書-----18
5. 聖書からの引用-----19
6. 神学的考察-----20
7. エコロジーに関する教会の公文書-----22
8. いくつかの倫理的挑戦と 2003 年京都での水  
フォーラムに寄せた教皇庁の文書の抜粋-----23
9. 「判断する」に関する質問-----25

### 行動する：

10. キリスト者はなぜ環境問題に関心を払わなければならぬか----- 26
11. あなたにできるいくつかのこと----- 28
12. 内省のための質問----- 32
13. 内省と祈り（水の典礼）----- 32
14. 資料および参考文献 ----- 34

<sup>1</sup> Commentary -“Sister Water - A Franciscan Perspective”, by Bro. Celso Márcio Teixeira ofm. c.f., <http://www.ofm-jpic.org/ecology>

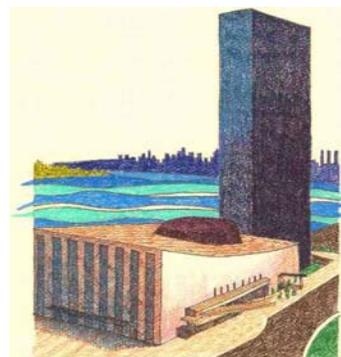
## 序文

水は地球とその住民を養うのに欠かせないものです。

国連総会は 2003 年を、最も貴重な資源である水の危機に世界の注意を促すために「国際淡水年」と宣言しました。

水の危機とは何でしょうか。ある人々は、水不足と人口の増加の問題であると言うでしょう。物質的な消費社会における水の分配と浪費、そして尊ぶ気持ちの欠如の問題だと言う人もいます。また、別の人たちは、給水事業の民営化と所有権の問題だと言うかもしれません。現在これらの事業の 95 パーセントが公営企業によって管理されています。

すべての国民は、医療保障と教育を受ける権利と同様、生まれながら、水を獲得する権利を持っています。そうした基本的福利を利用できるということは、選択の問題ではなく、人権の問題です。



しかしながら、1996 年、2000 年、2003 年と 3 回に及ぶ「世界水フォーラム」で長時間にわたり討論と交渉が重ねられたにもかかわらず、また、2001 年には「国際淡水会議」が開かれ、国連内部で討議がなされたにもかかわらず、この権利はまだ国際社会から公式に承認されていません。2003 年 3 月

に京都で開催された「世界水フォーラム」でも、2003年6月のエビアン・サミットのアクション・プラン（8カ国の首脳のうち7人がキリスト教国の代表である）でも、この問題について意見の一致はみられませんでした。京都フォーラムの時には、バチカンが水利権を支持する強い姿勢を繰り返し、詳しく表明しました。バチカンの声明文の抜粋をこの小冊子の巻末に掲載しておきます。

価格が高騰し、利便性が脅かされたとしても、水に代わるものを人間は持っていません。従って、水の供給を市場原理に任せるわけにはいかないのです。「水は、その性質上、他の物品と同列に扱うことはできない。カトリックの社会的見解は、人間の自然環境のような特定の共有財産の保護・防衛を市場原理に委ねることはできないことを絶えず主張してきた。なぜなら、それらの共有財産は人間の基本的要求に関わるものであり、市場原理の埒外にあるからである。」（「新しい課題」、40）

「見て、判断して、行動する」方法に従うこの小冊子の目的は、水に関する問題について明確な情報を提供することです。この小冊子は、ローマの国際J P I C推進本部の作業部会が作成した環境問題シリーズの2冊目です。

私たちの全体的な目的は、キリスト者の共同体において環境維持可能な生活様式を促進することです。最初の小冊子は「気候変動と地球温暖化」についてでした（<http://www.ofm-jpic.org/globalwarming/>）。その小冊子の中にも、すでに水に関するたくさんの情報が載っていますので、この中でこのテーマのあらゆる側面について詳細な解説をしようとは思いません。時のしるしは、私たちに環境について回心するように招いています。この小冊子はその方向に向う一助と

なることが私たちの願いです。

核心となる質問は、なぜ私たちは「社会および環境正義」に関連するこうした問題にいつそう深く関わらなければならないのかということです。水は、農産物を栽培し、動物を飼養するのに必要なばかりでなく、人間が生きてゆくのに欠かせないものです。それでいて、水不足の問題は世界中に広がっています。多くの農村地域では、地下水の水位が低下し、井戸水は汚染され、水源は減っています。灌漑用水や工業用水、都会の家庭用水のための水資源をめぐる争いでは、しばしば力の強い者が勝ち、力の弱い者は渇水に苦しめられます。私たちが手をこまねいていれば、あらゆる形のいのち、特に母なる大地に住む最も弱いものが深刻な影響を受けることになるのです。

## 見 る

### 水に関するいくつかの現状

詩人、サミュエル・テイラー・コールリッジは、「老水夫行」の中でこう書いています。「水、水、いたるところ水ばかり、それなのに飲み水は一滴も無い。」なぜ私たちは水を使えるものにする必要があるのか。それは、今日淡水がどんどん不足してきているからです。国連世界水資源開発レポートによると、「今世紀の中ごろまでには、少なくとも 48 カ国の 20 億の人々が、最悪の場合、60 カ国の 70 億もの人々が水不足になる」そうです。

#### 現状を考えよう：

1. 地球上の水の 98 パーセントは、塩水であり、人間の利用には適していない。淡水で私たちが利用できるのは総量の 1 パーセント未満にすぎない。淡水の大部分は南極と北極の雪と氷に含まれている。<sup>2</sup> 別の言い方をすれば、水が 100 リットルあっても、人間が利用できる淡水の量は茶さじ半分以下ということになる。
2. 地球全体の水の消費量は、1900 年以降 10 倍に増えた。世界の総人口は向こう 30 年間に 45 パーセントの増加が見込まれるのに対し、淡水の増加量は 10 パーセントにすぎないと予測されている。
3. 最近の推定によれば、**気候の変動**によって地球の水不足は

<sup>2</sup> UNEP, Global Environmental Outlook.

20 パーセント増加すると言われている。<sup>3</sup>

4. 水不足に影響を及ぼすその他の要因は、1)地下水、河川、湿地帯、入り江などの水域の荒廃、2) 分配の不平等、3) 国境紛争、4) 民営化、である。
5. 国連の 1998 年度人間開発報告書によると、発展途上国の人口 44 億人のうち四分之三の人々が基本的な衛生設備の恩恵に浴しておらず、また、三分の一の人々が清潔な水を利用できずにいる。
6. 国連総会は、2000 年のミレニアム開発目標として、2015 年までに安全な飲料水を利用できない人を半減させる（当時 12 億人）ことに合意した。2002 年の持続可能な開発に関する世界サミットでも、同様に 2015 年までに下水設備を利用できない人の数を半減させる（現在 24 億人いると推定される）という目標を立てた。
7. 世界的にみた水の利用割合は次の通り：農業用水 70 パーセント、工業用水 22 パーセント、家庭用水 8 パーセント。<sup>4</sup>
8. **隠れた水の使用**：1 キロの作物を生産するのに必要な平均的水の量（リットル）は、ジャガイモ（1,000）、トウモロコシ（1,400）、米（3,400）、鶏肉（4,600）、牛肉（42,500）である。<sup>5</sup>
9. 世界の主要な河川の半分以上は、枯渇するか汚染されており、1998 年には、2500 万人もの人々が河川の汚染・枯渇により家から退去を余儀なくされている。この数は初めて

<sup>3</sup> UN World Water Development Report

<sup>4</sup> Rob Boden, Water Supply: Our Impact on the Planet (Hodder Wayland 2002)

<sup>5</sup> Peter Gleick, The World's Water 2000-2001 (Island Press 2000)

戦争難民の数を上回った。<sup>6</sup>

- 1 0. 国連食糧農業機関の推定によると、100 人の観光客が 55 日間で消費する水の量は、地元の村民 100 人の 15 年分の米を栽培する水量に匹敵するという。<sup>7</sup>
- 1 1. 腸チフス、マラリア、デング熱、コレラ、その他の水に関連する病気で死亡する人の数は年間およそ 500 万人に上っている。このことは、すなわち、毎分世界のどこかで 10 人（主に子ども）が無益に死んでいることを意味する。<sup>8</sup>
- 1 2. 一日当たりの水の消費量の比較： ガンビア（4.5 リットル）、マリ（8.0 リットル）、米国（500 リットル）、英国（200 リットル）。一人当たりにおすすめされる必要量は 50 リットルだが、30 リットルでもやっていけるはずである。<sup>9</sup>
- 1 3. 水と食料の安全： 2002 年世界平和デーのメッセージ<sup>10</sup>の中で、教皇ヨハネ・パウロ 2 世は、「水は食の安全を守るための基本要素である」と述べている。国際食糧政策研究所（IFPRI）<sup>11</sup> は、高度なコンピューターモデルを使って、次のような予測を立てている。すなわち、2025

---

<sup>6</sup> Latin America Press, #7, Feb. 28, 2000

<sup>7</sup> Guardian nlimited, May 12, 2001; article by Esther Addley: "Tourist's Water Demands Bleed Resorts Dry"

<sup>8</sup> www.worldwater.org

<sup>9</sup> New Internationalist Magazine, March 2003

<sup>10</sup> Reference to all of the Holy See's World Day for Peace messages, including, 2001, in 6 languages: <http://www.vatican.va/holyfather/johnpaulii/messages/peace/index.htm>

<sup>11</sup> "The Global Water Outlook to 2025: Averting an Impending Crisis" <http://www.ifpri.org/pubs/fpr/fprwater2025.pdf>

年までに、水不足が原因で食料生産は世界全体で年間 3 億 5 千万トン減少すると推定される。これは、米国の年間穀物生産量をわずかに上回る量である。言い換えれば、明らかに水が将来の食料生産を制限する主要因のひとつであると思われる。

- 1 4. 先進諸国では、一人当たりの排泄物（大便 35 キロ、小便 500 リットル）除去のために年間平均 15,000 リットルの水を必要とする。<sup>12</sup>

### ペットボトルウォーター（瓶詰めの水）：

15. 「ペットボトルウォーターの約 25 パーセントは、単なる水道水であり、天然資源防護審議会（NRDC）が米国で行なった検査によると、少なくともサンプル一本は法的基準を満たしていないか、微生物学的純度の許容値を超えている。」<sup>13</sup>
16. ペットボトルウォーター業界は、環境を犠牲にしてこの共有資源を販売することにより利益を得ている。揚水によって、水源が枯渇し、生息地が破壊され、生態系が荒廃し、帯水層が枯渇する危険がある。プラスチックはゴミの中でも最も増加がいちじるしいものであり、現在では毎年ゴミ処理場に送られる廃棄物の 25 パーセント以上を占めている。<sup>14</sup>
17. ネッスルが経営するペリエ・グループは世界第二位のペッ

---

<sup>12</sup> New Internationalist Magazine, March 2003

<sup>13</sup> Water for All Campaign, Public Citizen ([www.citizen.org/cmep/water](http://www.citizen.org/cmep/water))

<sup>14</sup> Ibid.

トボトルウォーター企業の二倍の規模を誇っている。ネスルがペットボトルウォーター業界に占める市場占有率はおよそ 30 パーセントである。ダノンが業界の 15 パーセントを占め、ペプシーとコカコーラがこれに続いている。ペットボトルウォーター業界の売上は現在 220 億ドルに達しており、ある専門家筋の推定によれば、年間 30 パーセントの潜在成長率を有するとのことである。<sup>15</sup>

---

<sup>15</sup> Ibid.

## 水の民営化 — 「大きな問題！」 水と多国籍企業

2025 年までに、世界人口の三分の二は十分な飲料水が入手できなくなると予測されています。多くの多国籍企業はこの人類の「危機」をビジネス・チャンスと捉えています。フォーチュン誌 2000 年 5 月号には、こう書かれています：「20 世紀に石油が約束してくれたものを、21 世紀には水が約束してくれる。国家の繁栄を左右する貴重な商品」。しかし、石油とちがって、水には代替品というものがないのです！

ほとんどの人々は、水を売買される「商品」と考えていません。水は、人間の生命を支えるためばかりでなく、動植物の生命を支え、地球上の生物が生きるためになくてはならないものであるため、常に「公共の資源」(public trust) と考えられてきました。従って、利水事業は、公的な地方自治体の組織により運営されてきたのです。

世界貿易機関 (WTO)<sup>16</sup> とサービスの貿易に関する一般協定 (GATS)<sup>17</sup> によれば、利水事業は、新しい規定によって扱

---

<sup>16</sup> 国際貿易の規則を定める世界貿易機関(WTO)は、市場原理は善であるというゆるぎない信念の上に成り立つものである。いわゆる貿易障壁を取り除くことに重点を置きながら、文化や政治的伝統、社会的権利、環境保護などに妨げられることなく、全世界に開かれた市場を確立することを目指している。

<sup>17</sup> サービスの貿易に関する一般協定 (GATS) - グローバリゼーションの影響の一つは、世界各国において公共事業 (教育、医療、水管理、地方公営サービスを含む) の民営化に対し急速な、しばしば不必要なまでの圧力がかかっていることである。サービス事

われることになっています。この規定によると、多国籍企業は自分の好きな国で水利権を「売買」することができます。次の例を考えてみましょう。

- アラスカ・ウォーター・エクスポート社は、かつてアラスカからサウジアラビアまで氷河を運ぼうとしたことがあった。
- ペットボトルウォーターの会社を 68 社所有するスイスの多国籍企業ネッスル・コーポレーションは、米国のミシガン湖から水を汲み上げ、一日に 180 万ドルの収益を上げている。汲み上げた水の 65 パーセントは大きなトラックで別の場所に運ばれ、売られている。
- 1998 年、あるカナダの企業はスペリオール湖の水を毎年 1 億 5 千 600 万ガロン汲み上げてアジアで販売する許可を得た。この提案は、大衆と政治家の激しい怒りを買い、最終的には却下された。<sup>18</sup>

21 世紀の最初の大きな水紛争はボリビアで起こりました。その時、世界銀行は利水事業が民営化されなければ 2500 万ドルの融資を更新しないと通告したのです。コチャバンバ市の公営の利水事業は米国の有力企業ベクテル社に売却され、その後、水道料金は急速に値上がりしました。これに対してコチャバンバの人々は、何日も大規模な街頭デモを行って抗議し、それは

---

業を手がける大規模な多国籍企業は、国際的にサービス市場をこじ開ける強力な貿易ルールを確立するために、国の政府や国際機関と連携して働いている。これは、ジュネーブの WTO 本部で現在交渉中の懸案事項であり、WTO 本部では、中央政府が新しい貿易と投資の協定を作成すべく協議している。

<sup>18</sup> Defend the Global Commons (Vol.2 No.1 Jan 2003)www.citizen.org/cmep/water



ゼネストにまで発展して、市の経済を麻痺させ、最終的にベクテル社はボリビアから撤退せざるを得ませんでした。これが書かれている今現在も、ベクテル社はボリビア政府を相手取って WTO の「秘密法廷」(secret court) で 2500 万ドルの損害賠償訴訟を起こしているのです!

世界銀行および国際通貨基金 (IMF) は、多くの場合、新規融資を行うに際して水やその他の事業の民営化を条件にしているのです! 「2000 年の IMF の融資先 40 カ国を無作為に調べた結果、12 カ国が水の民営化を融資条件として義務付けられていたことが判明しました。たいていの場合、こうした条件を突きつけられているのは最も小さく、最も貧しい、最も債務に苦しんでいるアフリカの国々です。アフリカでは毎年 500 万人以上の人々が水不足のために死亡しています。」<sup>19</sup>

最近、ダッチ・フィナンシャル・デイリーが、「欧州連合は発展途上国に給水事業をヨーロッパ企業に譲るよう圧力をかけている」という記事を載せました。この記事を読むと、EU が GATS の枠内で、また、いわゆる WTO のドーハ・ラウンドでこれから行なわれる交渉の範囲内で、他の WTO 諸国のどの分野で市場を開拓しようとしているのかが明らかです。スエズ<sup>20</sup>

---

<sup>19</sup> Global Water Grab pamphlet by Polaris Institute (www.polarisinstitute.org)

<sup>20</sup> Suez: <http://www.suez.com/> (English, Spanish and French);

やビベンディ、テムズ・ウォーターといったヨーロッパの飲料水を扱う企業は、発展途上国における公営の水道事業を廃止することに関心を寄せています。<sup>21</sup>

現実には、WTOの下で定められた法的取り決めにより、物品、サービス、資本の自由で制約のない国際間の取引が保証されています。政府は自国内の給水事業の運営権を、債務免除と市場参入の約束、海外援助を取り付けるために放しているのです。その結果、国民は水を高値で買わざるを得なくなっています。

これらの機関（WTO、IMF）が、国家の経済社会政策決定機能を多く持つようになっていくと、どこで線を引くかが問題になってきます。つまり、男性、女性、子どもが命を守るのに欠かせない、品位のある生活を送るのに欠かせないものとして、一定の資源や公益事業を保護するか、それとも、最大限の収益を上げるビジネスを優先するか、の問題です。

### 「見る」に関する質問：

1. 水に関する現状の中で、どの問題に最も挑戦を受けましたか？ それはなぜですか？
2. これらの現状の中で、あなたの地域や国に最も関係のあるのはどれですか？
3. どの現状が最もあなたに希望を与えましたか？ また、それはなぜですか？
4. あなたやあなたの地域社会は「水問題」にどのように貢献していますか？
5. 水資源の管理を民間企業が行なうことについて、どのように感じますか？ 話し合ってください。

## 判断する

### 聖書における水<sup>22</sup>

パレスチナで生活を始めた初期の頃、ユダヤ人たちは海辺に住むことができませんでした。彼らは海辺の人々ではなかったのです。彼らは、波と神秘的な深みを持つ海に対して怖れを抱いていました。人々は中央高原地帯に住み、水を雨と湧水に頼っていました。水は、雨の日には天の高きところから降ってきます。泉では、湧水は地下から湧いてきます。しかも、どの方向に行っても、やがては必ず海で水に出会うのです。水は上にも、下にも、横にもあります。この経験に基づく観察を通して、彼らは創造のイメージを描いたのです。二日目に、神は水を上と下に分けられ、大空を造られました。三日目に、神は天の下の水で覆われた所と乾いた所を分けられ、乾いた所が現れるようにされました。詩編 104 番の美しい詩は、神がいかにして水を制され、いのちのために役立つものとされたかを物語っています。

紀元前 13 世紀に定住するまで、民は遊牧民で、砂漠を移動し、砂漠の真ん中の湧水のある所で生活を営んでいました。イエスは御自分の羊を永遠の命の源である泉のほとりに導かれる良い羊飼いです（詩編 23、ヨハネ 10 章）。

紀元前 587 年に君主制が崩壊し、神の存在の伝統的なしるしである神殿や、土地の所有、いけにえ、祭司職、エルサレムが破壊されると、多くの人々はこう言いました：「神は私たちを見捨てられた。私たちのことを忘れられたのだ」。これに対

<sup>22</sup> Fr. Carlos Mesters, O. Carm. /2003

し、エレミヤはこう答えました：「神は忘れてはおられない！神は私たちとの契約を破ってはならない！」。人々は聞き返しました：「どうしてそんなことがわかるのか？」。「なぜなら、時がくれば雨が降り、川は海に向かって流れ、土地を潤すからである・・・」（エレミヤ 31, 35-37 ; 33, 19-26 参照）。水はあらゆるものを浄化し、渇きを癒し、植物を潤してくれます。水は、泳ぐことができ、爽快な気分させてくれ、食物の準備やその他あらゆる目的に利用することができます。水なしで生きることはできません。

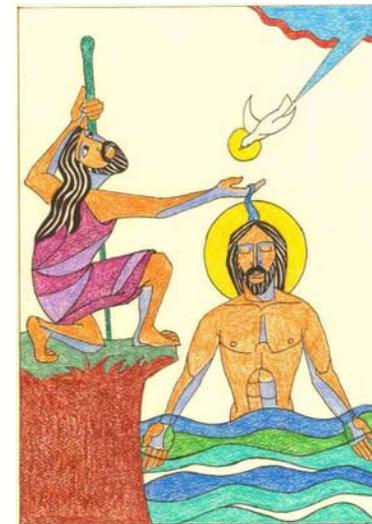
サマリアの女は喉の渇きを癒すため毎日井戸から水を汲んでいました。彼女はイエスと話を交わすうちに、自分の中に、永遠の命とともに迸り出るもう一つの泉を見つけました（ヨハネ 4, 14）。「いかに幸いなことか・・・主の教えを愛し、その教えを夜も昼も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす」（詩編 1）。

**聖書からの資料**：水に関する箇所、およびその象徴的意味について：

- ◆ ヨハネ 7、37-39、生ける水の約束
- ◆ ヨハネ 4、7-14、サマリアの女との会話における命の水
- ◆ エゼキエル 47, 1-12、神殿から湧き上がり、すべてのものを潤す水の美しいヴィジョン
- ◆ 黙示録 7, 17、命の水の泉に導く子羊
- ◆ 黙示録 22, 2、新しい樂園から流れ出て、すべてのところに命を漲らせる川
- ◆ 創世記 2, 10-13、エデンから一つの川が流れ出て、世界の四つの川となった
- ◆ 詩編 107、23-30、神は荒れ狂う海の水を静められた（マルコ 4、35-41 参照）。

## 神学的考察<sup>23</sup>

水は、その重要性和象徴的意味があらゆる存在のレベルに影響を及ぼす根源的な現実です。水を命の揺りかご、進化と成長の胎児を抱く羊水と考える時、古代の神話と現代科学は収斂されて一つになります。すべての有機物質の基本的な構成要素である水は、あらゆる生物、人間、動植物の生存に欠かせないものです。水の存在は、命と成長を約束し、水の不在は死と衰退



の前兆となります。水はすべてをリフレッシュさせ、新しくします。たとえばプールは疲れた手足を癒し、回復してくれますし、噴水は重荷を負って苦勞している人の心を和ませてくれます。また、入浴は汚れた体をきれいにしてしてくれます。人々が休日にリフレッシュし、元気を回復するために、水辺を選ぶのも無理からぬことです。

水は循環しており、それは人間の制御できるものではありません。雨は、富める人と貧しい人の別なく、すべての人に降り注ぎますが、そのことは被造物が私たちの手に委ねられたギフトであることを思い起こさせます。水は誰のものでもなく、すべての人のために惜しみなく与えられるものです。政治や経済

<sup>23</sup> Mons. Liam Bergin, Rector of the Irish College, Rome.

体制によってこの普遍的な水利権が侵害される時、自然界の秩序は乱されます。「今日の主要な水問題は、絶対的水不足の問題というよりも、分配と手段の問題です。水問題解決の根底にあるのは、ほとんどの場合水利権とその剥奪（access and deprivation）です。従って、水政策と倫理との関係が世界中でますます取りざたされるようになってきています。」<sup>24</sup>

ユダヤ教とキリスト教の伝統においては、洗礼の儀式における「洗礼の水の祝福」に、水の豊かな象徴性が見事に表現されています。創造の始めにおいて、神の霊は水に息を吹きかけて水をすべての善の源とされました。大洪水の水は洗礼の水のしるしであり、来るべき命、すなわち、すべての被造物にとって罪の終わり新しい命の始まりの前表なのです。紅海の水を通り抜けて、主はイスラエルの民をエジプトから導き出されました。洗礼の水によって、新しい神の民は罪の奴隷から解放されるのです。ヨルダン川を渡って、主は選ばれた民を、清く正しく平和に暮らせるために、カナンの地に導かれました。洗礼の水を通して、旅する神の民は正義と調和に満ちた約束の地に入ります。預言者たちは、新しい心を生み、新しい精神を授けてくれるような未来の清めを告げ知らせました。洗礼者ヨハネは、罪の赦しのために洗礼を受けるよう説いて回り、清めの儀式によって、救いの夜明けが近いことをあらかじめドラマチックに示したのです。

<sup>24</sup> “Water, An Essential Element for Life,” for the 3<sup>rd</sup> World Water Forum (Kyoto, 16<sup>th</sup>-23<sup>rd</sup> March 2003). 各国語のテキストをご希望の方は次へアクセスしてください：  
[http://www.vatican.va/roman\\_curia/pontifical\\_councils/justpeace/index.htm](http://www.vatican.va/roman_curia/pontifical_councils/justpeace/index.htm)

イエスが十字架上で亡くなられ、水と血が御わき腹から流れ出たとき、イエスはヨハネの洗礼が示したことを実現し、私たちに救いへの道を開いてくださいました。

洗礼は特権的なクラブに入会するための通過儀礼ではありません。それは兄弟姉妹である人々に仕えて生きるという誓約であり、イエスがなされたように父なる神の正義を表明するという誓約です。洗礼の秘跡を受けることによって信者たちは聖霊に満たされた共同体として生きることを誓うのです。そのような共同体は、神がいつかすべての被造物に与えようと用意されている完成した命を今先んじて生きることを求めるものです。

## エコロジーに関する教会の公文書：

ヨハネ・パウロ 2 世の世界平和の日メッセージ (1990 年 1 月 1 日)  
カトリック教会のカテキズム：299-301；307；339-341；344  
回勅 *ポプロールム・プログレシオ*、22、23-24、69  
回勅「新しい課題」、37-38  
回勅「働くことについて」、4  
マーテル・エト・マジストラ、196、199  
オクトジェジマ・アドヴェニエンス、21  
教会憲章#36  
現代世界憲章 #34  
シノドス（世界代表者司教会議）：世界における正義、第 1 章 #2  
回勅「いのちの福音」 #42  
使徒的勧告、「奉獻生活」 #90  
使徒的勧告、エクレジア・イン・アメリカ #25  
使徒的勧告、「アジアにおける教会」 #41  
使徒的勧告、エクレジア・イン・オセアニア #31  
「いのちの泉であり、すべてのものための贈り物である水」 -  
ボリビア司教協議会、コチャバンバ 2003 年 2 月 12 日

## いくつかの倫理的挑戦と京都会議に寄せた教皇庁の文書の抜粋<sup>25</sup>

- ◆ 「水は人類の共有財産である。このことは、貧困に苦しむ人々を優先する水政策に協力するための基本である・・・。」
- ◆ 「人間の重要性が一番に考慮されなければならない・・・。」
- ◆ 「しかしながら、多くの発展途上国では、利水事業が安全な水の供給を十分に達成できていない。状況は極めて深刻であり、海外からの開発援助増額と集中的な民間投資がなければ現状は改善されない・・・。」
- ◆ 「債務免除により放出された資金は、利水事業の改善のために役立つであろう。」

1. 清潔で十分な水の供給を受けることは人間の権利である：

2. 民営化と共有財産：水を市場で売買される単なるもう一つの商品とみなすことについては様々な危険が内在している。

- ◆ 「自然界の資源は世界共有のものであるという基本原則は、人々や国々が、未来の世代をも含めて、これらの資源を利用する基本的権利を持っていることを裏付ける。」
- ◆ 「公営と民間の共同経営の適正なバランスを保つことは極めて難しく、深刻な問題が惹き起こされた。」
- ◆ 「・・・給水事業を運営する権限を地方政府や地方自治体

<sup>25</sup> Ibid.

に与えることは極めて重要である。利水事業の運営は、ユーザーやプランナー、政策立案者があらゆるレベルで関わる参加型アプローチに基づいて行なわれるべきである。」

- ◆ 「国の事業に関与する民間企業を育成するにあたり、当事者は**十分な情報把握の上で決定し、健全な合意に達するために、対等な関係でなければならない**。利水事業に関与する民間企業は、効率良く信頼性のある給水サービスを達成する試みが貧しい人々や低所得者家庭に負担を強いるものにならないように最大の関心を払わなければならない。

3. 被造物の保全：キリスト者は、人間社会のためだけでなく、被造物全体の保全のために、環境を保護するよう求められている。

4. 防止の原則：被害を防止することは、環境保護と貧しい人の支援方策の最善の方法である。

5. 予防の原則：汚染（公害）はあってはならないものである。科学的知識が不十分で、結論の出ていない状態であっても、深刻で回復不可能な環境破壊を食い止めるために、決断し、行動を起こすことが必要である。

6. 汚染者負担の原則：公害を惹き起こした者は被害者に慰謝料を支払い、汚染された環境の回復のために費用を負担すべきである。

7. 義憤：環境が悪化し、水が利用できなくなったら、水は商

品化され、特権階級の人々のものになる危険があることを心に留め、キリスト者として義憤を表明すべきである。

- ◆ 「貧困生活の中で水を利用する人々にとって、水利権は生命権の問題である。
- ◆ 「水をコントロールする手段を持っている一握りの人間が、万民のためのこの資源を破壊したり、使い尽くすことがあってはならない。**強力な国際企業は、完と民を問わず、それぞれの企画を、人間のニーズを支配するより、もそれを満たすものになるよう適合すべきである**

## 「判断する」に関する質問

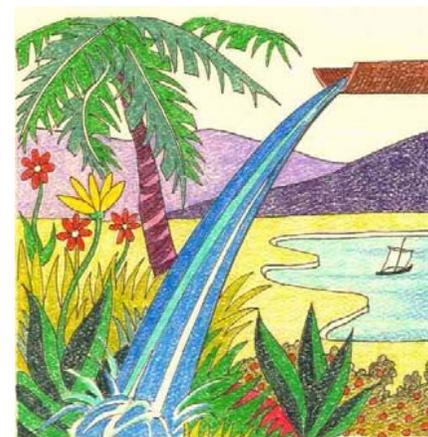
1. 水に関して教会はどのような立場をとっていると思いますか？短い言葉で説明してください。
2. 教会の立場を需要と供給の商業倫理と比べてどう思いますか？
3. 環境問題全般、あるいは特に水問題に関して、最近の教会の（国内や国際的な）声明文やコメントはどのようなものでしたか？
4. あなたの属する修道会の総会では、環境保護に関して最近何かコメントしていますか？

## 行 動 す る

### なぜキリスト者は環境問題に関心を払い、関わらなければならないか

地球には痛みを吸収し、再生するすばらしい力が備わっていますが、水はその大きな要因です。

しかし、今日の環境破壊はすさまじく、人類の生存を脅かしています。水体系が崩壊すると、無数の人々が水利権を奪われて苦しむこととなります。私たちは、兄弟姉妹と自然界そのものを保護する立場にあるのです。



特に環境と開発の問題のために書かれた「創造主である神との平和、すべての被造物との平和」（1990年1月）と題された画期的な教皇の文書は、「キリスト者は特に、自然界および被造物に対する責務を自分の信仰の重要な一部と認識している」（No.15）と述べています。<sup>26</sup>

生態系の保護は、あらゆる信仰の伝統の根幹であり、対話と

<sup>26</sup> Reference to all of the Holy See's World Day for Peace messages, including on the environment, 1990, in 6 languages: [http://www.vatican.va/holy\\_father/john\\_paul\\_ii/messages/peace/index.htm](http://www.vatican.va/holy_father/john_paul_ii/messages/peace/index.htm)

協力と相互理解を図らねばならない重要な問題です。様々な伝統の信仰を持つ人々は、人類を気遣うと同時に生命を支えてくれる地球にたいしても配慮するのです。彼らは、地球の貴重な水を保護し、すべての人の水利権を守るために、各地域で、また国際間で協力しながら働いています。現在の水危機においては、私たちは水のない人々や渇水の危機に脅かされている人々、および正義とこの貴重な資源保護のために働く人々と力を合わせなければなりません。

### これは今日の挑戦である：

- ◆ 修道者（キリスト者）の生活の預言的側面は、簡素な生活様式を選び、すべての被造物を尊重するようにと私たちを促しています。
- ◆ 多くの修道者は、淡水が利用できない地域社会と働いているために、水問題に関わりを持っています。
- ◆ 私たちは「時のしるし」を読むことのできる人々です。
- ◆ 私たちは、絶えず問題を識別するように求められています。
- ◆ 私たちは、生活を脅かす水危機のメッセージと警告を伝える手段と確立したネットワークを持っています。
- ◆ 私たちは、独自の霊性とカリスマによって、和解と調和の回復のために働いています。
- ◆ 私たちは、共通善という倫理観と、苦しむ人々やケアを必要とする人々と連帯する倫理観によって行動するものです。

具体的にどのように対応するかは、どこに住んでいるかによります。消費主義と物質主義的な価値観を持つ社会や国々に暮らす人々にとっては、被造物と調和した生き方をするといい

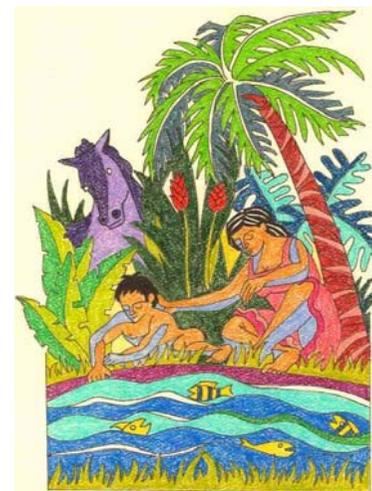
も、その方法は、人間としての尊厳を守って生きるための基本的な条件が満たされないような社会や国々に暮らす人々とは違うでしょう。

## 水の保護と保存

### あなたにできるいくつかのこと：

#### 瞑想すること：

- ◆ 水を見たり利用したりする度に、水が神の贈り物であることを思い起こすこと。この生命維持に必要な液体に対する尊敬の態度を養うこと。水は単なる物質ではなく「姉妹」なのです。水に対する瞑想的なまなざしを身に付けることによって、被造物を通して創造主に導かれます。「私の主よ、あなたはたたえられますように、姉妹である水のために。水は、有益で謙遜、貴く、清らかです。」水はいのちです。貧しい人々のいのちであり、世界のいのちです。



**学ぶこと：**人権としての「すべての人のための水」の擁護者・保護者となること。

- ◆ 批判的な意識を養うこと。水問題に関する責任を地方・中

中央政府から、民間企業、特に多国籍企業に譲渡するようにとの勧告に用心すること。

- ◆ 水を保護し、保存するための市民活動に参加すること。
- ◆ 水に関する問題の解決に成功した家族・共同体から学ぶこと。
- ◆ あなたの住んでいる地域で、ペットボトルウォーターの会社を所有しているのは誰かを確認すること。

### 保存すること：

- ◆ あなたの家で水を保存する方法を考えること。たとえば、漏れやすい蛇口や栓を修理するとか、芝生の水やりを制限したり、シャワーを浴びる時間を短くするとか、汚水処理の代替方法（乾燥処理）を支援するなど。
- ◆ 水の収穫技術（伝統的な知識や手法）を活かすこと。森林計画や植林運動を促進することによって流域を保護すること。
- ◆ 健全な草地や農地、湿地帯、森林地帯の重要性に関する意識を高めること。これは水不足に対する最良の保険です。

### 擁護すること：

- ◆ 地方自治体の水資源を管理する権利を守ること。上下水設備に関する事業の自由化と商業化に批判的な目を向けること。
- ◆ *地域レベル、国家レベル、国際レベルで擁護すること。*<sup>27</sup>
  - 1) あなたの国や地域、町では、水はどのように管理されているか調べること。
  - 2) あなたの地域や国では、どのような水政策、下水処理政策がとられているか調べること。

<sup>27</sup> AEFJN document on water. c.f. <http://www.aefjn.org/>

あなたの国の政府は **GATS 交渉** に関してどのような立場をとっているかに特別な注意を払うこと。3) こうした情報について信頼できる NGO やその他の専門家に相談すること。4) 基本的な水利権および下水設備を利用する権利を守るために彼らと協力すること。

- ◆ *先進諸国において擁護すべきこと*：GATS 交渉の場で、家庭用水と基本的な下水処理サービスを利用する権利については GATS 協定の枠外に置くということを明確にするために、国の貿易担当大臣や貿易に関する欧州委員会（Ministers for Trade and the European Commission for Trade）に働きかけること。
- ◆ 芝生に肥料をやるのを控え、肥料は無リン肥料だけにすること。ほとんどの芝生は既に必要なリンを含んでいます。

### 変えるべきこと：

- ◆ 賢い消費者になること！リサイクル商品、環境に優しい製品を買うこと。
- ◆ *個人的な回心*：個人として関われる活動とあなたの共同体として関われる活動を選び、後日その活動を評価すること。
- ◆ *組織的な回心*：水利権や下水処理設備を利用する権利を守るための公正な法的枠組みを整備するために働いているキャンペーンを国家レベルであるいは国際レベルで支援すること。後日その支援活動を評価すること。
- ◆ 日常の習慣を変え、水汚染や水の利用を減らすように努めること。なるべく自動車を使わずに自転車や徒歩、あるいは相乗りで移動し、酸性雨の原因となる有毒大気汚染物質をつくらないようにすること。
- ◆ 入浴よりもシャワーにすること — 5 分以内に済ませれば、1 ヶ月に 1000 ガロンの水が節約できます。歯を磨

く時に水を流しっ放しにしないこと — 1分間に4ガロンの水が節約できます。水を使うときは、常に少なめを心がけること。

- ◆ 湯沸し器の温度やサーモスタットの温度を低めに設定して、エネルギーの消費と、酸性雨の原因となる汚染物質の発生を抑えること。
- ◆ あなたの知識と活動を他の人々に伝えてください！
- ◆ その他になにか変えるべきことがありますか？

### 「行動する」に関する質問：

1. 水資源を保護するためにあなたの地域や身近なところで行なわれている活動について説明してください。どのような人々が、なぜそのような活動に関わっているのでしょうか？
2. あなたや家族・共同体は「水問題の解決」にどのように貢献することができますか？
3. あなたの教会や修道会の中に、利水事業が「民営化」されている国々で働いている会員はいますか？いたら、彼らから現状を聞いてください。また、国際的な活動が必要とされているかどうか尋ねてください。

## 内省と祈り

共同体全体で集まるか、友人と集まって、次のようなやり方で内省と祈りの会を持つことをお勧めします。

水の入った器を用いて、シンプルな祈りの中心を作ってください。

**祈りへの招き：**創造主なる神よ、あなたの霊は水面を動かし、海をそれぞれのところに集め、河川の流れを定め、いのちを生み出すために雨を地上に降らせました。私たちは水の恵みのゆえに、あなたを賛美します。水やあなたがくださるすべての恵みを、あなたの聖なるみ名の誉れと栄光のために、感謝の念をもって受け取り、愛をもって世話し、あなたのすべての被造物と惜しみなく分かち合うことができるよう、驚きと喜びの気持ちをお与えください。<sup>28</sup>

**聖書朗読：** 詩編 65 番

### 内省のための沈黙

#### 信念の表明：

- 水は地球とすべての生きもののためのものであることを信じます。
- 水は永久に保存されるべきものであることを信じます。
- 汚染された水は再生されるべきものであることを信じます。
- 水は自然の流域において最も良く保護されるものであることを信じます。

---

<sup>28</sup> World Council of Churches Prayer Services.

- 水は政府のあらゆるレベルで保護されるべき公共の資源であることを信じます。
- 清潔な水の適正な供給は基本的人権であることを信じます。

**信仰の分かち合い：** 水に関するこの小冊子を読んで学んだことを分かち合ってください。何か驚くようなことがありましたか？ 刺激されたことがありますか？

#### 水の祝福：

- 水の入っている器のそばに来てください。その前でお辞儀をし、手を水に浸し、十字架のしるしをして、水の祝福を受けてください。

**閉会の歌：** 祈りの終わりにあたって、聖歌を歌いましょう。

## 資料および参考文献

### ウェブサイト：

#### 数ヶ国語：

1. The World Water Development Report: Water for People, Water for Life (UN): the report can be ordered on line. A good executive summary (36 pages) is available in seven languages:  
[http://www.unesco.org/water/wwap/wwdr/ex\\_summary/](http://www.unesco.org/water/wwap/wwdr/ex_summary/)
2. International Year of Freshwater (Official Site): - English, Spanish and French – for information on *what is happening in your country* click on the section “*The Year around the World*”.  
[http://www.wateryear2003.org/ev.php?URL\\_ID=1456&URL\\_DO=DO\\_TOPIC&URL\\_SECTION=201](http://www.wateryear2003.org/ev.php?URL_ID=1456&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201)  
[http://www.wateryear2003.org/ev.php?URL\\_ID=1456&URL\\_DO=DO\\_TOPIC&URL\\_SECTION=201](http://www.wateryear2003.org/ev.php?URL_ID=1456&URL_DO=DO_TOPIC&URL_SECTION=201)
3. Water justice for all: global and local resistance to the control and commodification of water. 「すべてのものための水の正義：水の支配と商品化に対する地球的・地域的な抵抗」26 ページ。Friends of the Earth 出版。英語、フランス語、スペイン語、日本語で入手可能。  
<http://www.foei.org/index.php>
4. Document: Water a Right for all – European Africa Faith and Justice Network. (English and Spanish):  
<http://www.aefjn.org/english/issues/equitable%20trade.htm>
5. Report by the International Commission on Dams :  
<http://www.damsreport.org/> Download the complete report in English and Spanish at:  
<http://www.damsreport.org/report/> 「報告書の概要」は

下記にて、英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、ヒンディー語、ポーランド語、ロシア語、中国語、日本語で入手可能：

<http://www.damsreport.org/report/overviews.htm>

6. International Gender and Trade Network (IGTN): - Spanish and English –

<http://www.igtn.org/EconoLit/Literacy.html>

7. UNESCO and Water: - English, French and Spanish –  
[http://www.unesco.org/water/index\\_ex.shtml](http://www.unesco.org/water/index_ex.shtml)

8. Global Environmental Outlook 3 (GEO 3-) provides an overview of the main environmental developments over the past three decades (English, Spanish, French and Russian), and how social, economic and other factors have contributed to the changes that have occurred.

<http://www.rolac.unep.mx/geo/geo3/> A Section of this report is on Freshwater

<http://www.grida.no/geo/geo3/english/265.htm>

(English).

9. World Social Forum – Water: - English, Spanish and Portuguese–

[http://agenciartamajior.uol.com.br/agencia.asp?coluna=forum\\_agua](http://agenciartamajior.uol.com.br/agencia.asp?coluna=forum_agua)

10. Swiss Coalition: - German, French, Italian and English –

<http://www.swisscoalition.ch/deutsch/pagesnav/H.htm>

11. World Water Rescue Foundation: - English, Arabic, Chinese, French, Russian and Spanish –

<http://www.wwrf.org>

英語：

12. International Water Working Group:

[www.citizen.org/cmep/water](http://www.citizen.org/cmep/water)

13. Save Water:

<http://www.savewater.com.au/default.asp> : a resource recommended by Planet Ark. (English).

14. Greenhouse gas emissions from Dams: for a free pdf file copy of the 24 pages report in English, go to:  
<http://www.irn.org/programs/greenhouse/index.asp?id=pt1.html>

15. Water Barons:

<http://www.icij.org/dtaweb/water/default.aspx> (a series of articles on multinationals and their search for control of water – (Analysts predict that within the next 15 years in Europe and North America, these companies will control of 65 percent to 75 percent of what are now public waterworks.)

16. 10 ways to save water – English –  
<http://www.wateruseitwisely.com/waterSavingTips/100tips.html>

17. Visioning a sustainable community – English – A process on how to work out a vision for your community.

[http://www.wri.org/action/action\\_vision.html](http://www.wri.org/action/action_vision.html)

18. Polaris Institute: [www.polarisinstitute.org](http://www.polarisinstitute.org)

19. Global water outlook :

<http://www.ifpri.org/media/water2025.htm> - English-. This web site links water and food security and has several free books to be downloaded or ordered.

20. Water Observatory:

<http://www.waterobservator.org/>

ドイツ語/ポルトガル語/スペイン語/フランス語/イタリア語

- 2 1. [www.netzwerk-afrika-deutschland.de](http://www.netzwerk-afrika-deutschland.de)
- 2 2. Tierra America: Portuguese and English –  
[http://www.tierramerica.net/agua\\_2002/index.htm](http://www.tierramerica.net/agua_2002/index.htm)
- 2 3. People's World Water Forum (Florence): - Italian –  
<http://www.cipsi.it/contrattoacqua/forum-acqua/it/index.htm>
- 2 4. Brazil Social Forum – Water: - Portuguese –  
<http://www.estadao.com.br/ext/ciencia/agua/>
- 2 5. Water 2003 – Italian, French and German -  
<http://www.wasser2003bildung.ch/>
- 2 6. Ecologists in Action: - Spanish –  
<http://www.ecologistasenaccion.org/accion/agua/home.htm>
- 2 7. Eco Portal – Spanish -  
<http://www.ahorranragua.com/>
- 2 8. Save Water and Energy: (technical advice): - Spanish –  
<http://www.ahorranragua.com/>
- 2 9. Ministry of the Environment (France):  
<http://www.environnement.gouv.fr/dossiers/eau/default.htm>
- 3 0. Evian Document: - English and French –  
[http://www.g8.fr/evian/english/navigation/2003\\_g8\\_suummit\\_documents¥water\\_-\\_a\\_g8\\_action\\_plan.html](http://www.g8.fr/evian/english/navigation/2003_g8_suummit_documents¥water_-_a_g8_action_plan.html)

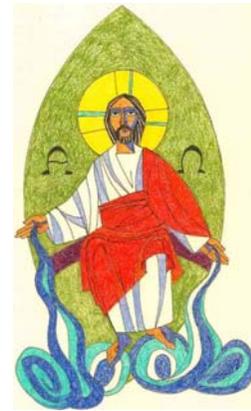
下記の方々がこの小冊子の作成に様々な形で協力してくださいました：

Cathy Arata SSND., Caroline Price RGS., Willy Ollivier CICM, Antonio Silvio Da Costa Junior O.CARM., Enrique Marroquin CMF., Jefferies Foale C.P., Dominick Pujia, FMS., Tiziana Loghitano SFP., Françoise Weber FCJM., Karen Gosser SHCJ., Michael Heinz SVD., Gearoid Francisco O Conaire OFM., Marjorie Keenan RSHM., Vanya Walker-Leigh, novice TSSF (Anglican Communion), Mons. Liam Bergin, Carlos Mesters O.CARM., Josefina Arrieta FMM., Jacqueline Millet FMM., Joe Rozansky OFM., Dina Trevisan FMM., Dionysius Mintoff OFM., Rita Toutant MSOLA., Paul Gabriel Pak C.P., Boze Vuleta OFM., Larry Finn C.P., Michael Moran CP (artwork).

この小冊子は、昨年出した「地球環境の一体性」と同じように、もとの文書は修道者を対象にしたものですが、内容は全てのキリスト者に通用するものだと考え、その趣旨に従って訳しました。この小冊子の内容に関してアイデア、提案、批判などがありましたら、下記の所に連絡下さい。

2003年10月4日 聖フランシスコの祭日

フランシスコ会日本管区 正義と平和エコロジー委員会 (JPIC)  
〒106-0032  
東京都港区六本木 4-2-39 聖ヨゼフ修道院  
電話 03-3403-8088 FAX 03-3401-3215  
jpic@ofm-j.or.jp <http://www.ofm-j.or.jp/>



わたしはアルファであり、オメガである。  
最初の者にして、最後の者。  
初めであり、終わりである。  
わたしは命の泉から水を惜しみなく与える。  
(黙示録 21:6)